

(工学部・工学研究科)
公益財団法人朴龍九育英会
2024(令和6)年度奨学金給付育英生の募集

2023.9.19

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) 2024年4月に、大学院の正規生として在籍する者。
- 2) 2024年3月31日時点で、修士課程は満30歳未満、博士課程は満35歳未満の者。
- 3) 申請書類を日本語で記入でき、面接及び事務手続きを日本語で出来る者。
- 4) 2024年度(令和6年度)に他の奨学金を受ける予定のない者。
- 5) 月1回の月次報告書を提出し、行事(面談・交流会等)に参加できる者。

Sufficient Japanese ability that can complete the application documents and can be interviewed and communicate in Japanese is required to apply.

2 奨学金の金額・期間

月額 7万円

期間 2024年4月から在籍する課程の正規の最短修業年限まで最長2年間

3 推薦人数 1名

4 提出書類

- 1) 申請書(所定用紙1・2・3、写真添付、日本語で記入)
- 2) 紹介状(所定用紙4、指導教員により作成、署名押印要)
- 3) 成績証明書(学部のもの、コピー可)
- 4) 在学証明書(コピー可)
※ 2024年4月に進学予定の者は、合格を証明する書類(写し)
- 5) 自薦書(形式事由、研究テーマを含む、800字以内、A4用紙2枚まで)
- 6) 個人情報取り扱い同意書(所定用紙5、自筆で署名)
- 7) 在留カードの写し(両面)
- 8) 提出書類チェックシート(所定用紙6、確認欄にチェック)
- 9) 私費外国人留学生身上調書(指定用紙)
- 10) 家計状況申告書(指定用紙)

5 提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3階)

6 締切日 2023年10月6日(金)

※2024年度に他奨学金受給が決定している者ならびに申請中(直接応募含む)の者については、選考対象外です。

2024(令和6)年度奨学金給付育英生募集要項

1. 応募者資格

- (1) 日本の大学院に在学または入学予定で、2024(令和6)年4月1日以降も在籍している外国人留学生（研究生除く）
- (2) 2024（令和6）年3月31日時点で下記年齢を満たす者。
 - ①大学院修士課程 満30歳未満であること。
 - ②大学院博士課程 満35歳未満であること。
- (3) 2024（令和6）年4月1日以降、他の奨学金等の給付を受けない者。
（但し、公的機関または学内奨学金で5万円以下の場合を除く）
- (4) 大学からの紹介が受けられる者。
- (5) 心身共に健康で学術優秀であり、学業継続が可能な者。
- (6) 経済的支援が必要と認められる者。
- (7) 申請書等の提出書類の記入、面接および事務手続きを日本語で出来る者。
- (8) 月1回の月次報告書を提出し、育英会開催の行事（面談・交流会等）に参加可能な者。
- (9) 世界平和に寄与し、社会の発展に貢献する意思のある者。

*上記(1)～(9)の条件を全て満たすこと。

2. 奨学金の内容

【給付金額】 月額：70,000円（無償給付）

【給付期間】 2024年4月から1年間以上で在籍課程の標準修業年限までの最長2年間。

※給付期間に満たない場合でも、学位取得月を最後に給付は終了とします。

また、当育英会が認める特別な理由を除き、給付期間の延長はありません。

3. 選考要領

- (1) 採用予定人員：10名程度
- (2) 募集期間：2023年9月19日（火）～2023年10月20日（金）※提出書類必着
- (3) 選考方法：書類選考（1次）および面接（2次）※どちらも日本語必須
 - ①書類選考の結果については、11月中旬頃までに郵送にて通知します。
 - ②2次選考（面接）対象者には、面接日時を指定した書面を郵送します。
※指定面接日に面接を受けなかった者は失格とします。
 - ③決定通知：面接選考結果については、面接日以降20日以内に、面接者全員に郵送にて通知します。（補欠合格の場合は、2024年3月末までに最終結果を通知します）

※全ての結果については、在籍(入学予定)する大学(留学生・奨学金担当部署)にも通知します。

5. 応募方法

応募者は下記の提出書類に必要事項を記入の上、必ず在籍(入学予定)する大学(留学生・奨学金担当部署)を経由して、募集期間内に下記送付先に郵送（2023年10月20日必着）してください。

提出書類	内 容
(1) 申請書	【所定用紙 1・2・3】 写真を貼付し、必要事項を記入
(2) 紹介状	【所定用紙 4】 大学（院）の紹介状（学長・学部長・指導教授など）
(3) 在学証明書	「在学証明書」または「合格証明書・入学許可証明書など」（コピー可）
(4) 成績証明書	学士（大学）の成績証明書（コピー可）
(5) 自薦書	研究テーマを含む自薦書（800字以内）…形式自由（A4用紙2枚まで）
(6) 同意書	【所定用紙 5】 「個人情報取り扱い同意書」に自筆で署名
(7) 返信用封筒	長形 3号（120mm×235mm）住所・氏名を記入の上 84円切手を貼付
(8) 確認シート	【所定用紙 6】 提出書類チェックシートを記入

※所定用紙をコピーして使用可（A4用紙使用）。

※所定用紙は「公益法人等情報公開共同サイト」の当育英会ページにも掲載しています。

当育英会 URL：<http://www.disclo-koeki.org/21a/O1202/index.html>

6. その他注意事項

- (1) 個人情報は適切に管理し、利用目的以外では使用しません。
- (2) 提出書類の不備や記述の不足の場合や応募者本人からの直接送付分は受理しません。
- (3) 虚偽の記載が判明した場合は失格（奨学金給付開始後は返金）となります。
- (4) 選考に関する問い合わせには、一切お答えできません。
- (5) 提出書類は返却しません。

以上

《問い合わせ先》

<p>公益財団法人 朴龍九育英会（ぼくりゅうく いくえいかい） 事務局 Park Yong Koo Scholarship Foundation 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-8-6 第2中央ビル5階 電話：03-3271-3414 FAX：03-3274-5741 受付時間：平日 10：30～16：30 URL：http://www.disclo-koeki.org/21a/O1202/index.html （公益法人等情報公開共同サイト）</p>

2024(令和6)年度奨学金給付育英生申請書

公益財団法人 朴龍九育英会 御中

貴育英会の「2024(令和6)年度奨学金給付育英生募集要項」に従い、
奨学金の給付を申請いたします。

写真貼付のこと
(縦4.5cm×横3.5cm)
最近6カ月以内撮影
カラー・上半身
裏面に氏名を記載

1. 申請者署名(自署) :

記入年月日 : _____ 年 月 日

2. 氏名・住所など

氏名	姓(Famiry Name)	名(First Name-Middle Name)			
カタカナ					
漢字					
アルファベット表記 (alphabet)					
生年月日	年 月 日	年齢	歳	性別	男・女
国籍		配偶者	有・無		
現住所	〒 -				
母国住所					
メールアドレス	@	電話番号	-	-	
		携帯番号	-	-	

3. 在籍状況(2024年4月1日時点)

大学(院)名	研究科・専攻	在籍課程	学年
		<input type="checkbox"/> 修士・博士課程前期 <input type="checkbox"/> 博士・博士課程後期	年
入学(予定)年月	年 月	指導教官・研究室	
所在地	〒 -		電話番号 (内線)

育英会使用欄	受付日	番号	備考
--------	-----	----	----

申請者		所定用紙-2
-----	--	--------

4. 学歴

区分	学校名および所在地(国・都市名)	入学・卒業年月	
		入学	卒業
高校		年 月	年 月
		年 月	年 月
専門学校		年 月	年 月
		年 月	年 月
大学		年 月	年 月
		年 月	年 月
大学院(修士・博士課程前期)		年 月	年 月
		年 月	年 月
大学院(博士・博士課程後期)		年 月	年 月
		年 月	年 月
その他			

5. 職歴(職歴・兵役等、該当する場合のみ記入)

勤務先及び所在地(国・都市名)	職務内容	勤務期間	
		年 月	年 月
		年 月	年 月
		~ 年 月	年 月
		年 月	年 月
		~ 年 月	年 月

6. 研究テーマ・奨学金申請理由など

研究計画 (研究テーマ)	
卒業後の 希望進路	
奨学金を希望 する理由	
日本に留学を 希望した理由	
その他 特記事項	

7. 家族状況

氏名	申請者との関係	年齢	職業	住所(国・都市名)

申請者		所定用紙-3
-----	--	--------

8. 経済状況

(1) 平均収入(月額)

①家族等からの援助	援助者名	(申請者との関係) ()	月額 万円
②本人収入 (アルバイト等)	職種	勤務日数 (月)	月額 万円
		日	
③奨学金・奨励金	名称		
	月額	万円	(給付型・貸与型)
	期間	年 月 ~ 年 月	
④その他(配偶者など)	内容	月額	万円
月額収入合計(上記①~④)		万円	

(2) 平均支出(月額)

⑤住居費(寮・アパート等の家賃)	月額	万円	
⑥学 費(授業料など)	月額	万円	
⑦上記以外の月次諸費用(生活費)	月額	万円	
⑧その他	内容	月額	万円
月額支出合計(上記⑤~⑧)		万円	

9. その他

現在の健康状況は良好ですか?		はい・いいえ (内容)		
趣味・特技		資格・免許等		
日本語	学習歴	年	会 話	上級・中級・初級
	能力試験(JLPT)	N1・N2・N3・N4・N5・なし		
日本へ来日した月	年 月	日本滞在期間(累計)	年	カ月

10. 緊急連絡先(申請者以外の日本国内に居住する親族・知人・友人など)

氏 名		職 業		申請者との関係	
住 所					
電話番号	- -	携帯番号	-	-	
メールアドレス	@				

個人情報取り扱い同意書

公益財団法人 朴龍九育英会は、奨学生及びその家族ならびに応募者等関係者の個人情報を取り扱うにあたり、関連する法令・ガイドラインを遵守するとともに、以下の「個人情報保護方針」を定め、個人情報の適正な管理・保護に努めます。

個人情報保護方針

1. 個人情報の取得

個人情報について、適法かつ公正な手段によって取得します。

2. 個人情報の利用目的

取得した個人情報は、下記事業及び利用目的の達成に必要な範囲で利用します。

(1) 事業内容

- ① 奨学生に対する奨学金の給付及び相談・指導・助言
- ② その他当財団の目的を達成するために必要な事業

(2) 利用目的

- ① 採用に関する書類送付、連絡及び手続き
- ② 奨学金の給付に関する管理、連絡及び手続き
- ③ 面談や相談ならびに交流会等に関する連絡、書類送付及び管理
- ④ 修了後の各種書類等の送付及びこれらの付随事項
- ⑤ 奨学金の重複支給回避のための、他の奨学金支給団体との名簿の相互交換

3. 個人情報の第三者への提供

- (1) 取得した個人情報は、利用目的及び法令に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく第三者には提供いたしません。
- (2) 個人情報の取り扱いを外部に委託する場合は、個人情報の適切な利用を実現するため、必要かつ適切な監督を行います。

4. 個人情報の開示・訂正・利用停止・消去

個人情報について、本人から開示・訂正・利用停止・消去等の依頼があった場合は、法令に従い速やかに対応します。

5. 個人情報に関する問い合わせ・受付窓口

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-8-6 第2中央ビル
公益財団法人 朴龍九育英会 事務局 (平日 10:00~17:00)
TEL 03-3271-3414 FAX 03-3274-5741
E-mail : bokuryuuku-ikueikai@minos.ocn.ne.jp

以上

私は、上記の個人情報取り扱い事項について、同意します。

年 月 日

署名

印

紹 介 状

年 月 日

公益財団法人 朴龍九育英会

理事長 朴 一成 殿

下記申請者につき、貴育英会の奨学金給付育英生として紹介いたします。

1. 紹介者

大 学 名 :

役職・氏名 :

印

(学長、学部長、指導教授またはそれに準ずる方)

2. 申請者

氏 名 :

性 別 :

男 ・ 女

国 籍 :

在籍課程 :

修士(博士課程前期)

博士(博士課程後期)

学 年 :

年

※入学予定の場合

年

月入学予定

申請者	
-----	--

所定用紙-6

提出書類チェックシート

	提出書類	確認 ✓
1.	申請書【所定用紙-1. 2. 3】	
2.	紹介状【所定用紙-4】	
3.	在学証明書または合格証明書・入学許可書など	
4.	成績証明書（学士/大学のもの）	
5.	自薦書（800字以内、A4サイズ2枚まで）	
6.	個人情報同意書【所定用紙-5】	
7.	返信用封筒（長形3号、84円切手貼付）	
8.	提出書類チェックシート【所定用紙-6】	

公益財団法人 朴龍九育英会 概要

- 【団体名称】 公益財団法人 朴龍九育英会 (英文名 Park Yong Koo Scholarship Foundation)
- 【理事長】 朴 一成
- 【所在地】 東京都中央区日本橋3丁目8番6号 第2中央ビル
- 【URL】 <http://www.disclo-koeki.org/21a/01202/index.html>
- 【設立年月日】 1966 (昭和41)年12月27日設立 (財団法人 朴龍九育英会)
2014 (平成26)年4月1日財団法人から公益財団法人へ移行
- 【所管官庁】 内閣府
- 【事業内容】 1. 本邦で学ぶ外国人留学生に対する奨学金の給付 (返済不要) 事業
- 《対象者》
- ・日本国内の大学院に在籍している留学生 (研究生除く) で、給付対象年度の4月1日以降に在籍している者。
 - ・給付対象年度開始前日 (3月31日) 時点において、修士課程は30歳未満、博士課程は35歳未満の者。
 - ・その他、募集要項に定める者。
- 《給付人数》
- ・概ね10名程度
- 《給付金額》
- ・月額70,000円 (年額840,000円)。
- 《給付期間》
- ・給付開始日より1年以上で在籍課程の標準年限までの最長2年間。
- 《募集方法》
- ・採用実績のある日本国内の大学(院)へ募集書類を送付するとともに、「公益法人等情報公開共同サイト」の当財団ページ及び外国人留学生向けの奨学金情報誌等に募集情報を掲載し、在籍大学(院)の担当部署を經由して応募を受け付ける。
- 《選考方法》
- ・有識者等からなる選考委員会にて選考
- 《最近3年間の給付実績》
- | | |
|---------------|--------------------|
| 2023 (令和5) 年度 | 給付人数5人 (新規2名・継続3名) |
| 2022 (令和4) 年度 | 給付人数10人 (新規のみ) |
| 2021 (令和3) 年度 | 給付人数10人 (新規のみ) |
- 《採用実績のある大学名》
- 東京大学、東京工業大学、一橋大学、東京芸術大学、筑波大学、横浜国立大学、東京都立大学、北海道大学、東北大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、慶応義塾大学、早稲田大学、明治大学、中央大学、東海大学、同志社大学 ほか
2. 奨学生に対する援助事業
- 月1回の定期連絡のほか、奨学生相互間及び財団関係者等との交流会等で奨学生の状況を把握するとともに、必要に応じて助言等を行なう。

以上

2023.08.18

*2023年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身分	学部 MC 年	年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名			指導 教員		研究室 TEL
氏名	(漢字)				既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)			国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学					年 月 卒業・修了
東北大学 での移動 (新しい順番に)	在籍身分		在籍期間		
			年 月 ~ 現在		
			年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館		
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館		
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町		
	国際交流会館東仙台会館				
	県・市営住宅・民間アパート(住所)		

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

*2023年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

家計状況

* 2022年4月から2023年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2022年10月入学の場合は2022年10月から2023年3月までについて記入してください。

収入		支出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合計	円	合計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2021年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

年	期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
2023	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
2022	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
 - ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
 - ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。